

《二〇二二年度 第三回試験 国語》解答例

問一 ① さだ(められ) ② おくがい ③ 金属 ④ 望(む)

⑤ 印 ⑥ 義務 ⑦ 停留 (2点×7)

問二 1 エ 2 ウ 3 エ 4 イ (3点×4)

問三 電動車椅子の制限速度を上げてほしい。(6点)

問四 (疑問) 車椅子は椅子の仲間か車の仲間かということ。(3点)

(答え) 車椅子は椅子の仲間である。(3点)

問五 (1) (便利な点) 折りたたみができて軽く、目的の場所まで容易に移動できる点

(不便な点) 自力で動くというよりは、後ろから介助者におしてもらおうという点

(3点×2)

(2) 介助する人のためのものから座る人自身の用具に変わり、車椅子に乗ったまま

スポーツを楽しめる点。(8点)

(3) ア (6点)

問六 イ (4点)

問七 (似ている点) 機能・力は回復しないが、障害は軽減したり解消したりする点。

(異なる点) メガネはどこでも使えるが、車椅子は使う場所を選ぶ点。

(4点×2)

問八 エ (4点)

問九 オ (6点)

問十 当時はバリアフリーが義務化されておらず、車椅子の人が外出することを快く

思わない人が一部いたため。(8点)

問十一 (例) 自動販売機やエレベーター内の低い位置に設置してある押しボタンは、

車椅子の利用者が座ったまま操作できるだけでなく、子どもにも手が届く

ようになっていて。(10点)